

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

令和1年 9月 24日	
所属部局・職	野生動物研究センター M1
氏名	大西 絵奈

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)	
東京	
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
丸の内キッズジャンボリー	
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)	
令和1年 8月 12日 ~ 令和1年 8月 16日 (5日間)	
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
東京国際フォーラム	
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。	
	<p>今回私は初めてキッズジャンボリーに参加し、中国の干支の象形文字を教えるブースを担当した。また、干支の成り立ちの影絵劇にもナレーターとして参加した。所謂ぶっつけ本番の影絵劇であったので、私たちの芸術性が回を増すごとに上がっていくのを感じた。</p> <p>子どもたちの中には動物に関して深い関心を持っている子たちもいて、自分たちの準備したもので楽しんでくれている様子を見るのは感動的であった。多くの子どもたちが象形文字も楽しんでくれて、中には全部の干支を書いてくれる子や毎日来</p>
てくれた子もいた。	
またこのような機会があればぜひ参加したいと感じた。アウトリーチや教育の可能性について考えさせられる良い機会であった。	
6. その他 (特記事項など)	
松沢哲郎教授をはじめとする、今回のイベントに携わられたすべての方に感謝いたします。特に内藤さん、佐藤さんには学生のリーダーとしてご活躍いただき、彼女らのおかげで今回の企画が成功したと感じています。ありがとうございました。	